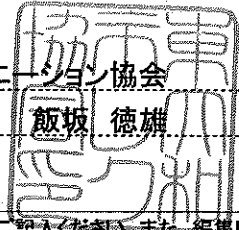


2020年 4月 1日

助成事業実施報告書

団体名 東大和市レクリエーション協会
代表者・役職名 氏名 会長 飯坂 徳雄



▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

無料学習塾「賢治の家」

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2006年東大和市社会教育課主催のプレイリーダー養成講習会受講者でレク研究会を結成、1年後日本レク協会の公認指導者資格受領後東大和市レクリエーション協会を設立した。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

本協会は遊びとレクリエーションで市民社会の活性化を目的としています。ただし現在の子どもの状況から学習支援や居場所支援とリンクしながら進めています。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

経済的な理由で商業的な塾に通えない小学生、中学生対象の学習塾です。教科は小学生で全科、中学生は英語と数学です。定員は全体で30名です。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

【年間当たりの実施回数】
①中学生月曜コース 42回 金曜コース 42回 都立入試コース 12回
1回当たり 5名～20名の参加 年間延べ(4月～2月) 1190名の参加
②小学生金曜コース 42回 毎回1回当たり6名の参加 年間延べ(4月～2月) 582名の参加
【成果】定期テスト対策でほぼ全員に成績の向上がみられた。中学3年生6名全員志望高校合格した

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

中学3年生は全員志望校に合格、その他の学年でも成績の向上が見られた。ただし一部学習意欲が見られず特別な支援を必要と考えられる子どもには対応できず辞めていった子どももいた。
他方、先生方の交通費負担は重荷となっていたが本年度は一部解決したが以前継続的な問題でもある。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。 参考資料あり・特になし

実施状況

東大和市レクリエーション協会の「無料学習塾賢治の家」



写真上は小学生、右は中学生の指導風景



「賢治の家」は学習塾ですが様々な行事もしています。下はクリスマス会です。



毎月第四土曜日には子ども広場で遊びのコーナーを開設しています。



2月29日(金) 新型ウィルスのコロナで3月は公共の施設が使えなくなりました。賢治の家は急ぎよ「お別れ会」を実施しました。全員が参加できなかったがこれからの進路に向かい楽しいひと時を過ごしました。

